

脳のはなし

物忘れ

認知症

アルツハイマー病



が気になりだしたら

第2回

検査で見える!? 認知症の原因「脳の『ごみ』」

前回は、脳の中にたまつていく「ごみ」と呼ばれる不要な物質が、物忘れや認知症の原因になるということをお話しました。脳のごみにはいくつか種類がありますが、その代表が「アミロイド β 」と呼ばれるタンパク質です。本来は脳の働きを助ける成分ですが、過剰にたまつてしまうと「ごみ」となってしまい、脳の正常な働きを邪魔してしまいます。

これまで「アミロイド β 」というごみがどのようにたまっているのか検査で調べることができなかつたのですが、最近「脳のごみが見える検査」が登場したのです。そのひとつがPET検査です。PET検査といえば「がんを見つける検査」として有名ですが、最近は他の病気の原因を見つけることもできるよう

なり、認知症においては「アミロイドPET」という検査で、脳のごみであるアミロイド β がどこにどれくらいたまつてているのかを見ることができるようになります。他にも、ツハイマー病の早期発見にも役立つことがあります。

「最近物忘れが多くて……」と悩んでいる方にとって、ごみを測る方法もあります。脳脊髄液を採取して、ごみを測る方法もあります。脳の健康状態を診やかかりつけ医での採血のついでに、診やかかりつけ医での採血のついでに、脳の健康状態を調べられる日が来るかもしれません。そうなければ、病気の早期発見だけでなく、日常的な脳のメンテナンスにも役立つでしょう。

このように、かかる検査は、専門の病院で医師の診察を受け、検査が必要と診断された方が受けることができ、あなたやご家族など気になる方々がいらっしゃった方がいらっしゃいます。あなたやご家族など気になる方々がいらっしゃった方がいらっしゃいます。あなたやご家族など気になる方々がいらっしゃった方がいらっしゃいます。次回は、認知症の治療、たまたまつてしまつた脳の「ごみ」を取り除くことができ、最新の話題をわかりやすくお届けします。どうぞご期待ください。

なり、認知症においては「アミロイドPET」という検査で、脳のごみであるアミロイド β がどこにどれくらいたまつているのかを見ることができるようになります。他にも、ツハイマー病の早期発見にも役立つことがあります。

「最近物忘れが多くて……」と悩んでいる方にとって、ごみを測る方法もあります。脳脊髄液を採取して、ごみを測る方法もあります。脳の健康状態を診やかかりつけ医での採血のついでに、診やかかりつけ医での採血のついでに、脳の健康状態を調べられる日が来るかもしれません。そうなければ、病気の早期発見だけでなく、日常的な脳のメンテナンスにも役立つでしょう。

このように、かかる

山野嘉久 やまの よしひさ

聖マリアンナ医科大学
脳神経内科 教授・医学博士

脳神経内科医として、ウイルスによる脳や神経の病気を長年研究し、診療ガイドラインの作成にも携わるなど、診療と研究の両面で活動している。日常生活に役立つ「脳の健康のヒント」をお届けします。

